

## 半島エリア（棚田跡地）の整備の方向性について

### ■ H26 年度及び H27 年度 運営審議会での検討内容（協議 2 資料 1～2）

- 園路：昔利用されていた道を活かした園路整備
- 内容：
  - ・H27 樹林地を楽しむプログラム（昆虫さがし、ハンモック等）
  - ・H26 遊び・学びの「えん」を支える景、明るい森との出会いの景（樹林広場+天空の森）  
（冒険の岩、自然観察、ピクニック・キャンプ、眺望）

### ■ 泉佐野丘陵緑地利用者アンケート（平成 27 年度の 1 周年記念イベント時実施）

※アンケート回答 125 件中、自由意見に記載のあった要望 43 件

- ・遊具設置に関する要望 10 件（うち 1 件 遊具を入れなくてほしい）
- ・施設整備に関する要望 6 件（うち休憩所 3 件、カフェ等 2 件、トイレ 1 件） →水辺の広場休憩所はアンケート時には建設中
- ・季節の花の植栽等に関する要望 2 件
- ・イベントに関する要望 7 件（うち自然に触れ合うイベント 3 件）
- ・早期開設に関する要望 3 件
- ・バリアフリー関連の要望 3 件
- ・バーベキューに関する要望 2 件
- ・P Rに関する要望 2 件
- ・維持管理に関する要望 2 件（樹木管理 1 件、除草 1 件）
- ・その他 6 件（マナー・ゴミ 2 件、におい 2 件、喫煙所 1 件、看板 1 件）

※遊具・遊ぶためのものに関する要望が最も多い。過去イベントアンケートでも比較的多い。

### ➡ 半島エリアを「昔ながらの遊び」を体験できるようなエリアとするのはどうか

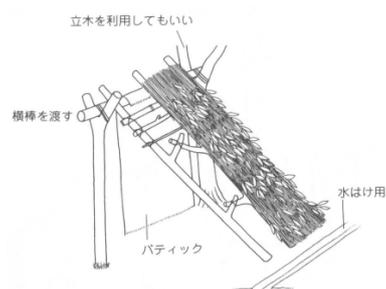
（体験できる遊びのイメージ）

#### ● 木登り



↑半島区域のみ木登り自由とする

#### ● 秘密基地



↑枝等で作ったテント等を作成

#### ● 手作り遊具



↑竹滑り台（棚田の段差を利用して制作）



↑間伐丸太平均台



↑タイヤブランコ

## ➡ 検討を要する課題：

### ① 仕組みの検討

#### 1) 運営手法の検討

パーククラブのステップアップ講座（新規会員募集講座も兼用）として**プレーリーダー養成講座を実施**

- パーククラブに「遊び班」の設置検討（プレーリーダーに興味がある人を呼び込む）
- 南大阪のプレーリーダー的活動を行っている団体との連携の模索

#### 2) 利用形態の検討

プログラムへの**申込者のみ半島エリアの利用ができる運用から始める**

**（はじめは日時限定（年に数回）として利用（通常時は閉鎖））**

※既成の遊具ではないので、使用中の破損等の可能性があることを認識してもらう

- ・登録制（事前に申込用紙にサインしてもらう）
- ・看板等による注意喚起
- ・スポーツ保険やイベント保険の検討

※閉鎖中は看板や柵等により利用できない旨周知をする

- 整備後すぐに本格利用を開始するのではなく、成熟度合いによって解放日時の拡大を検討（当面は日時限定プログラム利用→土日等限定曜日利用に拡大）

### ② 整備内容の検討

#### 1) 樹木の伐採についての検討

半島エリアの**樹木の間伐**を行うことで疎林化し、**広場的空間を確保**する

- ・どの樹木を間伐するか（大きな樹木は協働作業での間伐は困難）
- ・維持管理に最低限必要な園路（ルート・幅）の検討（間伐樹木の搬出等が必要）  
→ チッパー等が通行可能な幅・傾斜

#### 2) その他施設の検討

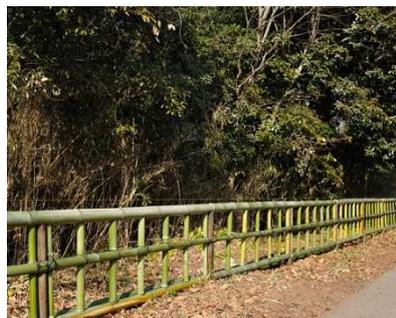
- ・園路、階段
- ・休憩施設、眺望施設

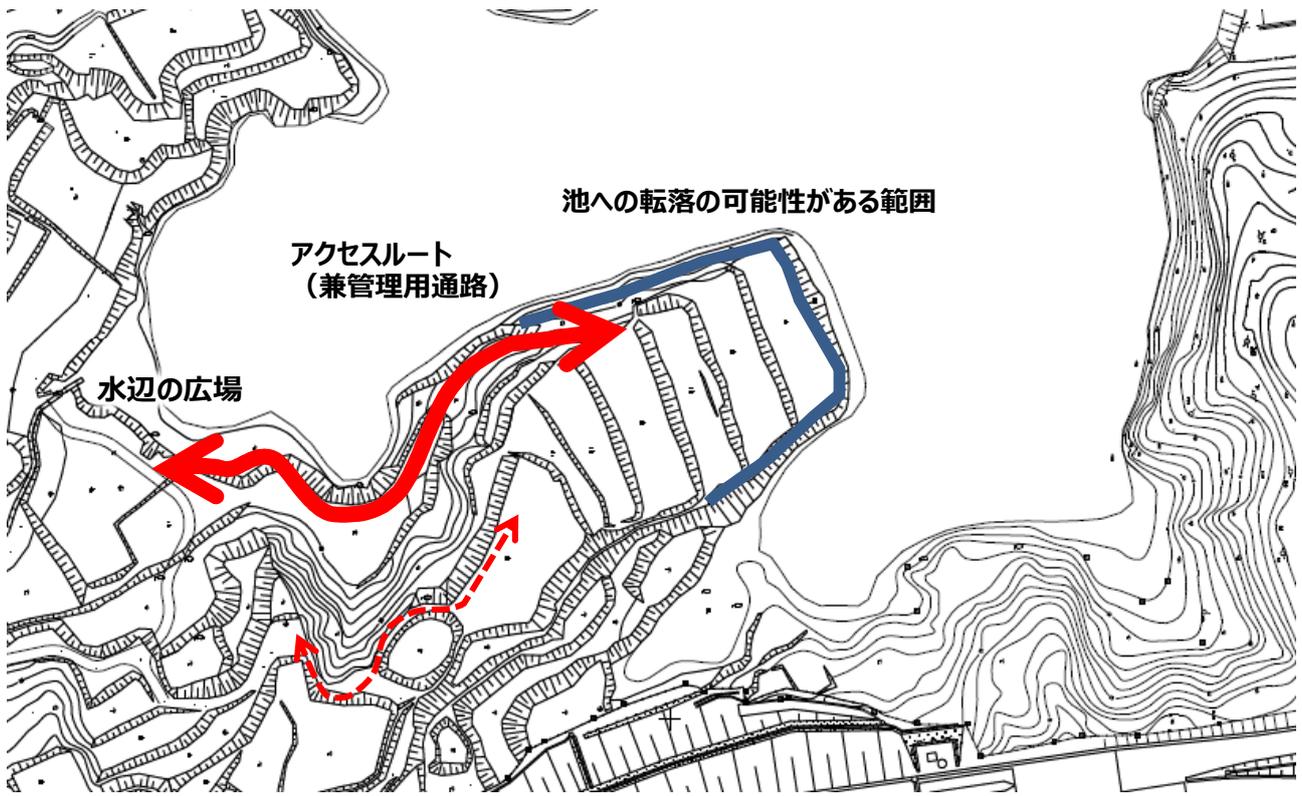
### ③ 安全対策の検討

安全対策は利用形態により検討。（遊びに夢中になることによる池への転落の可能性をどのように回避するかなど）

池沿いの安全柵は利用形態に関係なく先行設置（先行しても必要最低限の施設）

- 柵や植え込みによる転落防止、注意喚起の看板や目印、プレーリーダーによる注意





- 審議会で出た主な意見・課題
- ・勾配が急な箇所は階段の設置を検討する。
  - ・必要な園路を精査すべき。
  - ・園路から池が見えると、園路の雰囲気が大きく変わる。竹を間伐し、池への眺望を確保する必要がある。
  - ・シンボルツリーになりうる樹木をプロットし、それらを手掛かりに整備を行ってはどうか。
  - ・道幅の狭い箇所は拡幅を検討すべき。(実施予定)
  - ・倒れた竹や、伐採後の竹の搬出をすべき。(実施予定)
  - ・八つ橋の設置は再検討する必要がある。
  - ・棚田跡について、活動拠点となる水辺の広場との関係性に考慮した整備・活用を検討すべき。
  - ・棚田跡と園路の整備について、パーククラブとしてどちらを優先するか検討する必要がある。
- パーククラブから出た主な意見・課題
- ・園路の近くにある有刺鉄線は、安全対策が必要である。
  - ・湿地付近は歩きにくいので、改善する必要がある。
  - ・傾斜が急で、歩きにくくなっている箇所は改善すべき。

- 整備・活用の方針の検討
- 【園路の整備・活用について】
- ・一般来園者による利用に向けて、安全性を向上する。
  - ・竹の間伐を行い、池への眺望を検討する。
  - ・水鳥等いきものへの影響に配慮し、八つ橋の設置を見直す。
- 【棚田の整備・活用について】
- ・水鳥への影響に配慮し、水辺の樹木を保全しつつ、水鳥の観察場の整備を検討する。
  - ・棚田跡の整備は、パーククラブによる維持管理が可能な範囲とする。

凡例

園路整備の検討	
	階段の設置
	園路の平坦化
	柵・フェンスの設置
	休憩スポット
主要な樹木	
	コナラ
	クスギ
	サクラ
	ヤマモモ
	その他
敷地境界	
	敷地境界

